

ここが聞きたい！
いっぱん

質問

2期目の奥出雲町づくりの決意は

若月忠男 議員

町長 新しい総合計画に基づいて、
着実な施策推進を行います



問 井上町長再選に對しての考えは。

答 私といたしましては大方の町民の皆さんの支持がいただけるものならば、そして私自身の健康と氣力が町政を担うのに耐える状況であれば来年4月に予定されている選挙に向かつて立候補の準備をしたいと考えています。

問 1期目の町政についての業績と反省点については。

答 業績等ではなくて、皆さんの御活躍をどれだけ支援できるかというふうな基本的な考え方で町

政を担わせていただいています。4年間で繰り上げ償還も25億円して、財政指標は確実に改善してきています。これも町民の皆さんの御協力、御支援のものと思っています。佐白温泉については、賛成、反対の意見を十分に聞き、さらに丁寧な説明をしながら町政を進めていきたいと思っています。

問 2期目の町づくりの決意と方向性は。

答 2年目に合併の新町まちづくり計画を引き継ぐ形で、新たに町の総合計画も多くの町民の皆さんの御参画を得る中で策定したところです。今後はその新しい総合計画に基づいて、着実な施策の推進をして行く考えです。

問 スポーツ施設の合宿地としての更なる整備、拡充の考えは。

答 ホッケーでは大学の複合宿を、今後も引き続き施設の利用の促進を図ってまいりたいと考えています。

問 クロスカントリーコース施設の考えは。

答 町内で合宿をしていただくためには新たなク

ロスカントリーコース等も、どこが適地か十分に検討をする必要があると思っています。総合的な準備もいろいろ考えて、快適な合宿施設の整備も今後の課題と考えています。

問 来年も町内に於いて大学・事業団等の合宿を誘致する考えは。

答 県ホッケー協会等とも十分調整しながら誘致について努力してまいります。

問 三沢地区に於いて、トレイルランニングが開催されましたが、町主催大会の開催についての考えは。

答 三沢地区の皆さんの方が中心で実施されたと思っております。継続してできるように取り組んでいただき、町としても可能な支援をしていきたいと思っております。

問 仁多米の集出荷対策として、運賃助成とCE利用料金助成の考えは。

答 本町のブランド米である仁多米への需要が伸びて、高い買い取り価格による買い付けが直接業者から行われており、個

別の有利販売が増加している状況であると思っております。カントリーエレベーター利用料金は、今年度から一般的な荷受け重量と水分を測定して算定する利用料金制度に改定しており、もみの重量をもとにやっております。その結果、実質的に利用料金は値下げされ助成は考

える必要はないと思っております。

問 仁多米3年連続金賞と報道されておりますが、集荷対策は更に強化され、仁多米ブランド価値を高める事だと考えますがその対策は。

答 転作とが減反等の生産調整をしなくてもいいような取り組みとして今少しづつ準備を始めておりますのは、農水省から輸出用米という認定をもらえれば、それは生産調整の枠外でいくら作ってもいいと言ふふうな制度があるようですので、そこから辺もにらんだ取り組みを少しづつでも続けてまいりたいと考えています。